

- 問1 自由民権運動において、板垣退助らが政府へ提出した「民撰議院設立建白書」で主張された内容や、その後の運動の経過について述べた文として正しいものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 外国の干渉を排除するために、鎖国体制へと戻し海外貿易を禁止するよう求めた | 2. 武士の特権を維持するために、廃藩置県の中止と旧領主による統治の復活を求めた | 3. 特定の藩出身者による専制政治を批判し、公選の議員による議会の開設を求めた | 4. 天皇を中心とする強力な独裁体制を確立するため、憲法の制定を中止するよう求めた |
|---|--|---|---|
- 問2 1875年、明治政府はロシアとの間で国境を確定させるために樺太・千島交換条約を締結しました。この条約によって取り決められた領土の扱いについて、正しい説明はどれですか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1. 樺太（サハリン）の北緯50度以南を日本領とし、千島列島をロシア領とした。 | 2. 日本が千島列島の領有権を放棄する代わりに、樺太（サハリン）を日本領とした。 | 3. 日本が樺太（サハリン）の領有権を放棄する代わりに、千島列島を日本領とした。 | 4. 樺太（サハリン）と千島列島の両方を、日本とロシアの共同管理地とした。 |
|---|--|--|---------------------------------------|
- 問3 1885年と1907年の日本の貿易統計を比較すると、1880年代半ばには綿糸が輸入総額の約17%を占めていましたが、1900年代後半には原料である棉花が輸入の2割以上を占めるようになり、逆に綿糸や綿織物が輸出されるという変化が見られます。このような貿易構造の変化が起きた主な背景として正しい説明を選んでください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 製糸業の衰退によって生糸の輸出が止まり、それに代わる新たな輸出産業として砂糖の製造が主力となったため | 2. 政府が棉花の自給自足を進めるために、輸入された綿糸に高い関税をかけて国内の棉花栽培を奨励したため | 3. 軍事力の強化を目的に、欧米諸国から最新の綿織物機械を輸入する代わりに大量の生糸を輸入し始めたため | 4. 産業革命の進展により国内の紡績業が発達し、安価な原料を輸入して加工製品を輸出する形態が確立されたため |
|---|---|---|---|
- 問4 明治時代中期の日本の政治状況において、1895年の下関条約締結よりも前の時期にはすでに確立されていた制度として適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------------|
| 1. 大政翼賛会による挙国一致体制の確立 | 2. 大日本帝国憲法に基づく帝国議会の開設 | 3. 衆議院のみを立法機関とする一院制の導入 | 4. 満25歳以上のすべての男女に選挙権を認める普通選挙法 |
|----------------------|-----------------------|------------------------|-------------------------------|
- 問5 板垣退助らが「民撰議院設立の建白書」を提出したことで本格化した、国民の自由や権利を求め、国会の開設や憲法の制定を訴えた一連の政治運動を何といいますか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|-----------|-----------|
| 1. 公武合体運動 | 2. 文明開化 | 3. 尊王攘夷運動 | 4. 自由民権運動 |
|-----------|---------|-----------|-----------|
- 問6 1883年に渋沢栄一らによって設立され、蒸気機関による大規模な機械化を実現したことで、日本の産業革命を牽引した企業を選択肢の中から選びなさい。この企業の成功により、1891年には国内の綿糸の生産量が輸入量を上回る結果となりました。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 大阪紡績会社 | 3. 三菱長崎造船所 | 4. 富岡製糸場 |
|----------|-----------|------------|----------|
- 問7 明治時代、当時の外務大臣である井上馨が中心となり、欧米諸国に対して日本が近代化されたことを示そうとした政策があります。東京に鹿鳴館を建設して夜会や舞踏会を開くなど、日本の風習を急速に欧米風に改めたこの政策を何といいますか。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 富国強兵 | 2. 欧化政策 | 3. 地租改正 | 4. 文明開化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 明治政府が、欧米諸国に対抗できる経済力をつけるために進めた、近代的な産業を育成する政策を何といいますか。この政策では、政府が直接運営する官営模範工場の建設や、鉄道・通信網の整備が行われました。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 版籍奉還 | 3. 富国強兵 | 4. 殖産興業 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 1894年からの日清戦争の結果として締結された下関条約の内容が、その後の日本の産業発展にどのような影響を与えましたか。条約の内容と関連させて説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 台湾を獲得したことにより、そこでの石油資源を独占的に利用できるようになり、重化学工業が飛躍的に発展した。 | 2. 山東省の利権を継承したことで、そこから算出される鉄鉱石を安く輸入できるようになり、機械工業の自給率が向上した。 | 3. 清から支払われた多額の賠償金が、金本位制の確立や官営の八幡製鉄所の建設費用などに充てられた。 | 4. 朝鮮の独立を認めさせたことで、日本の資本家が朝鮮全土に綿織物工場を建設し、軽工業の輸出額が世界一となった。 |
|---|--|---|--|
- 問10 大日本帝国憲法下の帝国議会において、国民の選挙によって選ばれた議員で構成される衆議院とともに、二院制の一翼を担った議院を何といいますか。この議院は、皇族や華族、および天皇から直接任命された議員によって組織されていました。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 貴族院 | 2. 元老院 | 3. 枢密院 | 4. 参議院 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問11 江戸時代に「天下の台所」と呼ばれ商業の中心地であった大阪周辺では、明治時代以降、私鉄による独自の都市開発が進められました。この開発において、当時の私鉄各社が安定した経営を行うために鉄道事業とあわせて展開した事業の内容として、最も適切なものを選択してください。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 鉄道の利用者数を増やすため、線路沿いの土地に住宅地や遊園地・宝塚歌劇などの観光施設を開発した。 | 2. 貿易を促進するため、駅の周辺に外国人居留地を設け、海外資本による商業ビルを建設した。 | 3. 軍事輸送を優先するため、政府の資金援助を受けて大規模な官営工場の誘致と運営を行った。 | 4. 都市部の過密化を防ぐため、郊外での鉄道駅建設を制限し、都心部のみに商業機能を集中させた。 |
|--|---|---|---|
- 問12 明治政府が富岡製糸場などの「官営模範工場」を各地に建設した目的として、当時の背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 失業した武士たちをすべて工場労働者として雇用し、士族の反乱を未然に防ぐための救済策とするため。 | 2. 外国製品の輸入を完全に禁止し、国内市場を政府の管理下に置くことで自給自足の体制を築くため。 | 3. 民間資本が不足していたため、政府が率先して西洋の機械や技術を導入し、それを民間に普及させるため。 | 4. 江戸時代から続く伝統的な手作業による生産工程を、国が保護・管理することで外貨を獲得するため。 |
|--|--|---|---|
- 問13 大日本帝国憲法下における貴族院の制度や権限に関する説明として、当時の仕組みを正しく述べているものを選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 衆議院が解散された場合には、貴族院も同時に解散され、議員全員の入れ替えが行われた。 | 2. 予算の先議権は衆議院にあるが、法律案の議決については衆議院と対等な権限を持っていた。 | 3. 内閣総理大臣を指名する独占的な権限を持っており、衆議院よりも法的に優位であった。 | 4. 国民による直接選挙によって選ばれた多額納税者議員のみで構成された議院であった。 |
|--|---|---|--|